

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
心豊かな 自ら学ぶ 活力のある生徒の育成	① 活気と活力ある学校づくり ② 学力の向上～自ら学ぶ生徒の育成 ③ 生徒指導の充実

達成度 A：ほぼ達成できた
B：概ね達成できた
C：やや不十分である

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

①活気と活力ある学校づくり

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題 (左記の理由)	具体的な改善策・向上策
教育活動	○学校スローガンの実現	①夢や希望を持っていると語れる生徒の育成	①について70%以上を目指す。	○学校スローガン、「夢を語って夢を形に」について、儀式的行事や集会、PTA等で折に触れて周知 ○生徒とともに、職員も清掃活動をする。 ○清掃のやり方についてオリエンテーションをする。 ○美しい学校づくりの係より、年度当初に教室内の環境整備について提案 ○小中連携組織の家庭の学びの部会での推進や保護者への啓発(食育便り、学校保健委員会で作られた情報)をする。	A	①75%(+5ポイント)	①は、目標を上回ったもののH29比3ポイント減なので、教育活動を通して支持的風土作りを醸成する。
教育活動	○生活環境の整備・清掃	①熱心に清掃に取り組む生徒の育成 ②教室環境の整備	①について90%以上を目指す。 ②整理・整頓、掲示の共通理解を図る。	○学校スローガン、「夢を語って夢を形に」について、儀式的行事や集会、PTA等で折に触れて周知 ○生徒とともに、職員も清掃活動をする。 ○清掃のやり方についてオリエンテーションをする。 ○美しい学校づくりの係より、年度当初に教室内の環境整備について提案 ○小中連携組織の家庭の学びの部会での推進や保護者への啓発(食育便り、学校保健委員会で作られた情報)をする。	A	①94%(+4ポイント) ②生徒指導の重点項目に設定し、教室環境の改善に取り組み、佐賀市教育委員会訪問で高評価を得た。	①は、H29比2ポイント増なので、次年度も継続した取組を行う。 ②についても校内研修や職員会議等、折に触れて指導し、環境が改善したので、次年度も継続した取組を行う。
教育活動	●健康・体づくり	○望ましい生活習慣の形成 ①自分で起きる生徒の育成 ②朝食をとる生徒の育成	①について70%以上を目指す。 ②について90%以上を目指す。	○学校スローガン、「夢を語って夢を形に」について、儀式的行事や集会、PTA等で折に触れて周知 ○生徒とともに、職員も清掃活動をする。 ○清掃のやり方についてオリエンテーションをする。 ○美しい学校づくりの係より、年度当初に教室内の環境整備について提案 ○小中連携組織の家庭の学びの部会での推進や保護者への啓発(食育便り、学校保健委員会で作られた情報)をする。	A	①82%(+12ポイント) ②93%(+3ポイント)	①は、H29比1ポイント増なので、次年度も継続した取組を行う。 ②は、H29比1ポイント増なので、次年度も継続した取組を行う。

②学力の向上～自ら学ぶ生徒の育成

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題 (左記の理由)	具体的な改善策・向上策
教育活動	●学力向上	①授業がわかりやすい、考えが深まったと感じる生徒の割合 ②全員の授業研究会を行う	①について85%以上を目指す。 ②について年7回以上実施する。	○教育課程の管理による時間数確保で授業で思考する場面を増やす。 ○授業の工夫として班活動、小グループ等をしくり、考えを深める授業実践につなぐ ○年間計画に明記して、確実に実施	A	①87%(+2ポイント) ②年9回実施(+2回)	①は、目標を上回ったもののH29比1ポイント減なので、きめ細かな指導方法の工夫・改善を行う。 ②は、特別支援学級及び通級指導教室でも実施し教育のユニバーサルデザイン化の一助となったので、今後も実施し交互作用を図る。
教育活動	○学習環境の創造	○意欲的に学習に取り組む生徒の育成 ①学校生活が楽しいと感じる生徒の育成 ②学校生活の決まりを守っているとする生徒の育成 ③生徒が、先生は授業や学校生活で、自分の考えを伝えたり聞き合ったりする工夫(班での教え合いなど)をしていると思う割合の増加	①について90%以上を目指す。 ②について90%以上を目指す。 ③について90%以上を目指す。	○仲間作りや、授業改善『聴く・聴きあう』を進める。	B	①88%(−2ポイント) ②94%(+4ポイント) ③95%(+5ポイント)	①は、開発的生徒指導に基づく教育活動を増やし、自尊心・自己有用感を高めていく。 ②は、目標を上回ったもののH29比1ポイント減なので、自立・自律心を育む教育を実施し、「揃える教育」から「揃っていく教育」への転換を目指す。 ③は、H29比1ポイント増なので、対話的な学びが進んでいると考えられる。今後も継続した取組を行う。
教育活動	○家庭学習の充実	○自学(家庭学習の時間を確保)する生徒の育成 ①学校外(家庭等)での学習を学年+1時間以上する生徒の育成	①について60%以上を目指す。	○小中連携組織の家庭の学びの部会で、保護者向け文書を作成する等を行い、啓発する。 ○自学ノートの取組を学年、学校全体で行う。	A	①64%(+4ポイント)	①は、目標を上回ったもののH29比4ポイント減なので、自学ノートの重視、課題提出時の承認を行うなどの対応を行う。

③生徒指導の充実

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題 (左記の理由)	具体的な改善策・向上策
教育活動	●心の教育	①他の人に対する思いやりを持って行動する生徒の育成 ②良い人間関係を築いているという自覚のある生徒の育成	①について90%以上を目指す。 ②について90%以上を目指す。	○ふれあい道徳を含めた道徳教育の実践 ○人権・同和教育の計画的実践	B	①93%(+3ポイント) ②87%(−3ポイント)	①は目標を上回ったもののH29比1ポイント減、②はH29と同値である。特別な 教科道徳実施を踏まえ、道徳教育及び人権・同和教育の充実を図る。
教育活動	●いじめの問題への対応	早期発見、早期対応を進める	毎月、月初めにアンケートを実施し、結果を共有する。	○毎月一回のいじめ・命を考える日における学校全体の資料作成と、アンケートの実施	A	早期発見、早期対応だけでなく、未然防止に積極的に取り組み、各種アンケート前後の聞き取り及び指導を充実させた。	いじめにつながるネットトラブルの予防に努めてきたので、次年度も本年度の取組を継続する。
教育活動	○生徒理解に基づいた生徒指導推進(共感的人間関係、自己存在感、自己決定)	①自分に良いところがあると自覚できる生徒の育成 ②生徒が、先生は生徒のために一生懸命に関わってくれていると思う割合の増加	①について60%以上を目指す。 ②について80%以上を目指す。	○生徒指導協議会、教育相談部会での職員研修 ○教育相談期間の充実 ○グループローラ作戦の確立と有効な実践 ○特別支援教育(個別の指導計画・支援計画)の	A	①72%(+12ポイント) ②91%(+11ポイント)	①は、H29比1ポイント増なので、次年度も継続した取組を行う。 ②は、9割を越えているがH29と同値なので、更なる向上を目指して次年度も継続した取組を行う。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題 (左記の理由)	具体的な改善策
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	時間外勤務の縮減 ①衛生・健康管理委員会の実施 ②時間外勤務100時間以上の教職員の割合の縮減	①について年3回以上実施する。 ②について通年平均で前年比−5ポイントとする。	○衛生・健康管理委員会を複数回実施し、現状把握と対策の検討、働き方改革の周知を行う。 ○定時退勤日の設定 ○部活動休業日の設定 ○サーバーを活用した電子媒体での事務処理、引	A	①12回(+9回) ②−12ポイント(7ポイント減)	①、②共に目標を大きく上回っているものの、内容に改善すべき点があるので、取組を継続しつつ質の向上を図る。

4 本年度のまとめ・次年度の取組

2つの項目(学校生活が楽しいと感じる、良い人間関係を築いているという自覚のある生徒の育成)が目標に届かなかったものの、8割の項目で目標を達成したので、本年度の学校評価目標は、ほぼ達成できたと判断している。中でも学校スローガン「夢を語って夢を形に」を核とした、①思考力と感性を磨き育むための学びの創造、②支持的・共感的風土を醸成しいじめや差別を許さない集団づくりのための生徒指導、③体験活動を通して実社会・実生活との関連から学習を意味づける価値づける教育、の3つを推進し、学校全体の教育活動を充実させることができた。また、全教員が年1回授業を公開する校内研修を実施したことや佐賀市教育研究委員の研究公開を実施したことで、研究主題及び研究の内容・方法等が実践に伴って周知・理解され、個々の教員の授業改善が進んだ。これらは、全教員の指導力向上に大きく寄与したと考えられる。

目標に届かなかった項目は、平成31年度以降も継続して改善に取り組んでいきたい。そのためには、特別活動等で、生徒に出番を与え・役割を選択させ・教職員の指導により目標を達成させてそれを承認するという成功体験のスパイラルを、入学から卒業まで行う必要がある。承認の際は、一人一人の良さを具体でほめるとともに、夢や目標づくりに向けた指導を教員が意識的に行っていくこととする。